

第3回 静岡市LRT導入研究会

1. 開催日時 平成23年11月21日(月) 14:00~15:30
2. 開催場所 静岡市役所 静岡庁舎 本館3階 第一会議室
3. 出席者 埼玉大学大学院 教授 久保田 尚
静岡鉄道株式会社 専務取締役 三浦 孝文
静岡市 副市長 清水 喜代志
※静岡商工会議所 後藤会頭は所用のため欠席
- 静岡商工会議所 専務理事 五十嵐 仁

4. 会議内容

(1) 開会

(2) 研究会

- ・想定ルートにおける課題の整理
- ・静岡鉄道との連携について
- ・まちづくり施策について
- ・意見交換について

(3) 閉会

5. 議事要旨

○各ルートの検討

- ・道路混雑度の検討は、1日平均交通量がベースとなっている。また、交通量シミュレーションでは、朝のバスレーンによる道路の交通容量低下が考慮されていないため、LRTが都心部の道路交通に与える影響については、今後精査していく必要がある。
- ・静岡、清水ルート合わせて、目安として1日1万人に需要を増やすための施策が必要である。通勤利用者の増加には、沿線事業所と協力した自動車通勤からの転換が有効である。また、ターミナルには商業施設を整備して集客力を持たせ、需要を創出する方策も考えられる。
- ・昨年、都市みらい創造会議の中で、コンベンションの誘致を議論した際に、外国の人から見てやりたいと思う動機はやはりおいしい食べ物ではないかという議論があった。例えば、日の出においしい食べ物と清水港や富士山の眺望等を特徴としたホテルを建設し、LRTでコンベンション会場まで直通するという方法も考えられる。観光やコンベンションという観点から、直通させることの意義が考えられるのではないかと。
- ・清水ルートに多くの需要を取り込むには、JR清水駅の関係にも着目する必要がある。
- ・清水橋は坂の勾配が8%あり、車両が上っていけないため、今後はJRの東側を通るルートを主に考えていく。